

2023年3月期

決算短信：説明資料

2023年5月9日



東証プライム 3837



01 売上高

12,842百万円 (4.9%増)

エネルギー(電力)、先進インダストリー事業 拡大(基盤システム:DX関連)

02 営業利益

1,210百万円 (11.3%増)

投資推進(DX人材育成、名古屋オフィス新設等)
営業利益率 9.4%

03 受注残高

2,611百万円 (13.9%増)

DX案件(パイメント関連、業務基盤関連)
エネルギー(電力・ガス) 拡大

※カッコ内は、対前年増減率

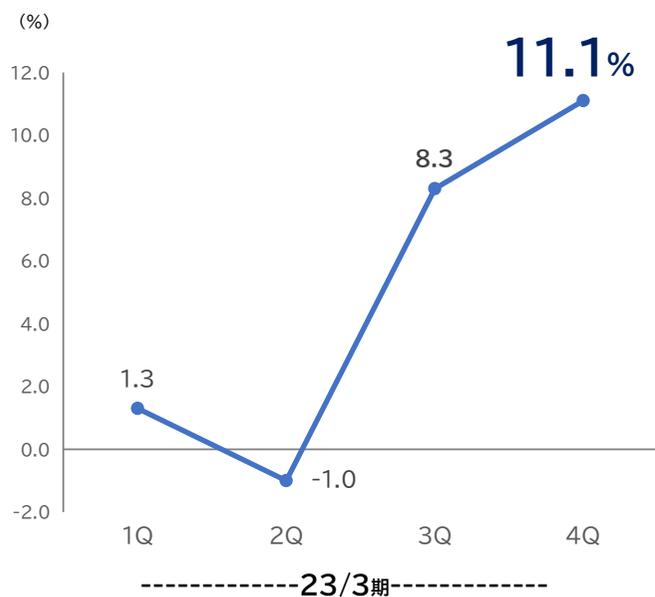
2023年3月期 業績ポイント



Point 01 四半期業績 拡大

反転・拡大!!

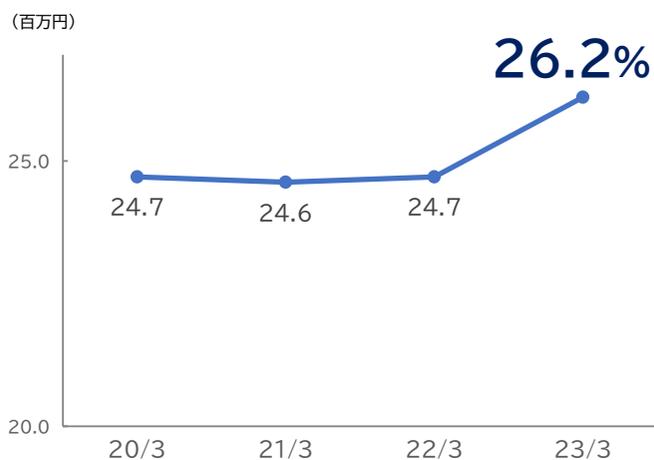
売上高 成長率
(前年同四半期比)



Point 02 収益性向上

過去最高!!

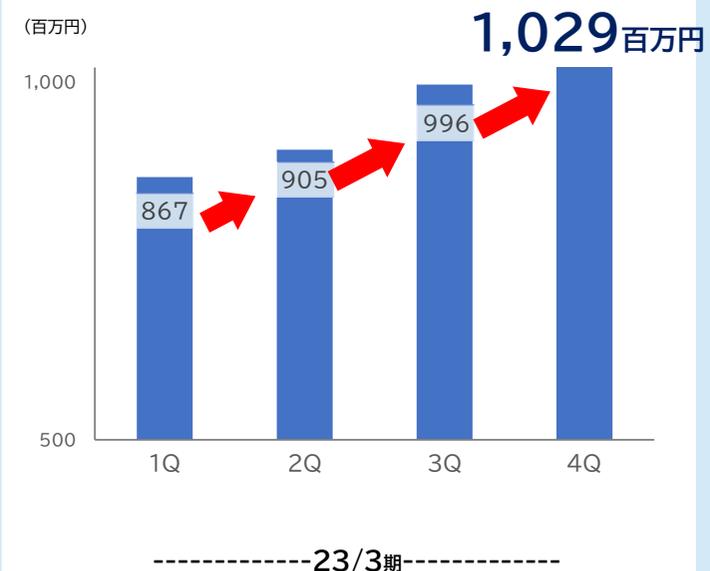
売上総利益率 推移
(年度単位)



Point 03 エネルギー(電力)関連 拡大

連続増収!!

エネルギー(電力)関連 売上高
(四半期推移)



2023年3月期 決算概要

2024年3月期 業績見通し

中期経営計画

2024年3月期に向けたポイント

【売上高】成長再加速フェーズへ **【利益】過去最高 売上総利益率**

(単位:百万円)	2022/3期 実績	2023/3期			
		実績	増減額	増減率(%)	ポイント
売上高	12,247	12,842	594	4.9	【下期以降、 <u>ICT投資再開/拡大</u> 本格化】 ・社会インフラ事業 (電力関連：ICT投資再開、拡大) ・先進インダストリー事業 拡大 (<u>基盤システム</u> :DX関連/ソリューション)
社会インフラ事業	7,348	7,203	△144	△2.0	
先進インダストリー事業	4,899	5,638	738	15.1	
売上総利益 売上総利益率(%)	3,023 24.7	3,364 26.2	341 -	11.3 -	【 <u>売上総利益率</u> ：過去最高を更新】 ・DX関連、電力関連など貢献
販売管理費 販売管理費率(%)	1,935 15.8	2,154 16.8	218 -	11.3 -	【戦略投資 継続】 ・人材:新入社員(54名)、 <u>育成</u> (DX、AI等)、 <u>体制</u> (コンサル) ・社内システムDX化 <u>名古屋オフィス新設</u>
営業利益 営業利益率(%)	1,088 8.9	1,210 9.4	122 -	11.3 -	【 <u>増益転換</u> 】 ・増収効果 → <u>電力</u> 関連、 <u>DX</u> 関連の拡大 ・品質管理の徹底(全社レベル) → <u>原価率改善</u> に寄与 ・コストコントロールの推進
経常利益 経常利益率(%)	1,130 9.2	1,244 9.7	113 -	10.0 -	
当期純利益 当期純利益率(%)	784 6.4	841 6.6	56 -	7.2 -	

セグメント別業績

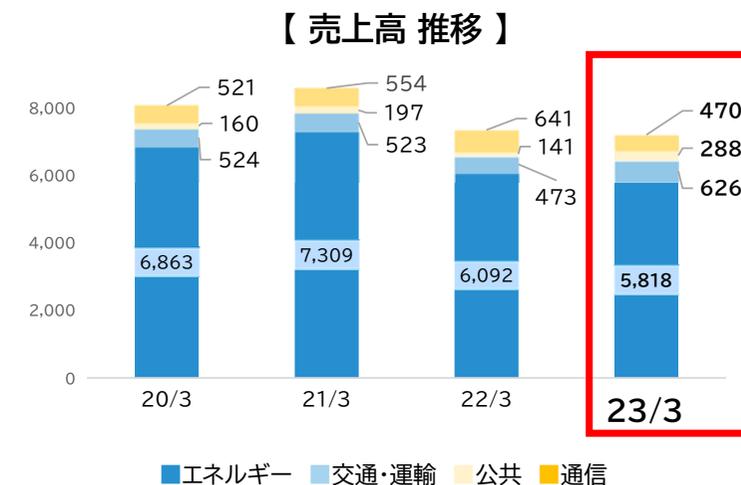
成長けん引：【社会インフラ】 エネルギー(電力) 【先進インダストリー】 基盤システム(DX案件)

(単位:百万円)	2022/3期		2023/3期				
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)	ポイント
売上高	12,247	-	12,842	-	594	4.9	
社会インフラ事業	7,348	60.0	7,203	56.1	△144	△2.0	【エネルギー】 ・ガス関連:大型案件終了 ・電力関連:投資再開・本格化
エネルギー	6,092	49.7	5,818	45.3	△274	△4.5	【交通・運輸】 ・航空関連:新規案件 ・道路関連:新規案件
交通・運輸	473	3.9	626	4.9	152	32.3	【公共】 ・防災関連:拡大
公共	141	1.2	288	2.2	147	104.5	【通信】 ・基地局関連:一部終了
通信・ネットワーク	641	5.2	470	3.7	△170	△26.6	
先進インダストリー事業	4,899	40.0	5,638	43.9	738	15.1	【制御システム】 ・自動車関連:継続 ・医療・ヘルスケア関連:継続
制御システム	1,437	11.7	1,471	11.5	33	2.4	【基盤システム】 ・DX関連:拡大 (メーカー/ベンダー)
基盤システム	2,849	23.3	3,527	27.5	678	23.8	【ソリューション】 ・GIS関連:拡大
ソリューション	612	5.0	639	5.0	26	4.4	・アライアンスビジネス展開

社会インフラ事業



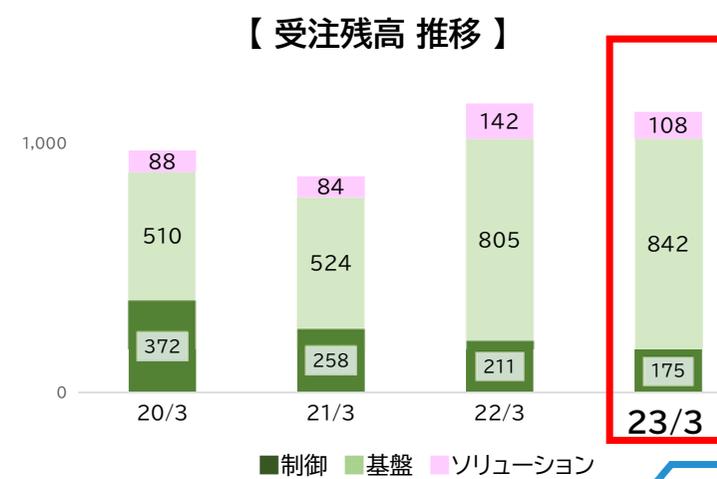
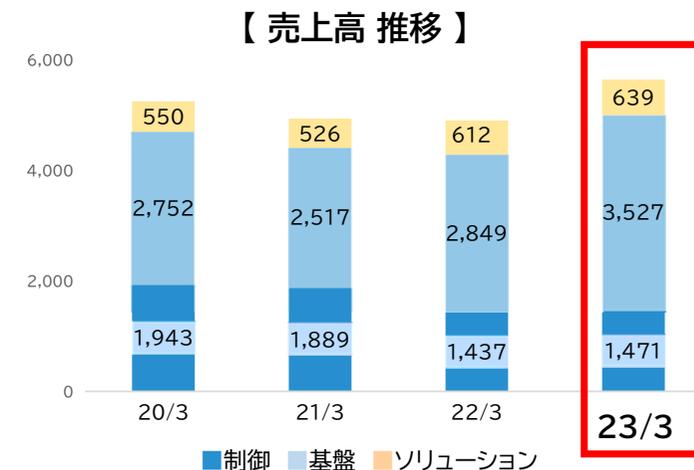
(単位:百万円)	売上高		受注残高	
	22/3	23/3	22/3	23/3
社会インフラ事業	7,348	7,203	1,133	1,484
エネルギー	6,092	5,818	910	1,165
交通・運輸	473	626	72	124
公共	141	288	53	59
通信・ネットワーク	641	470	96	135



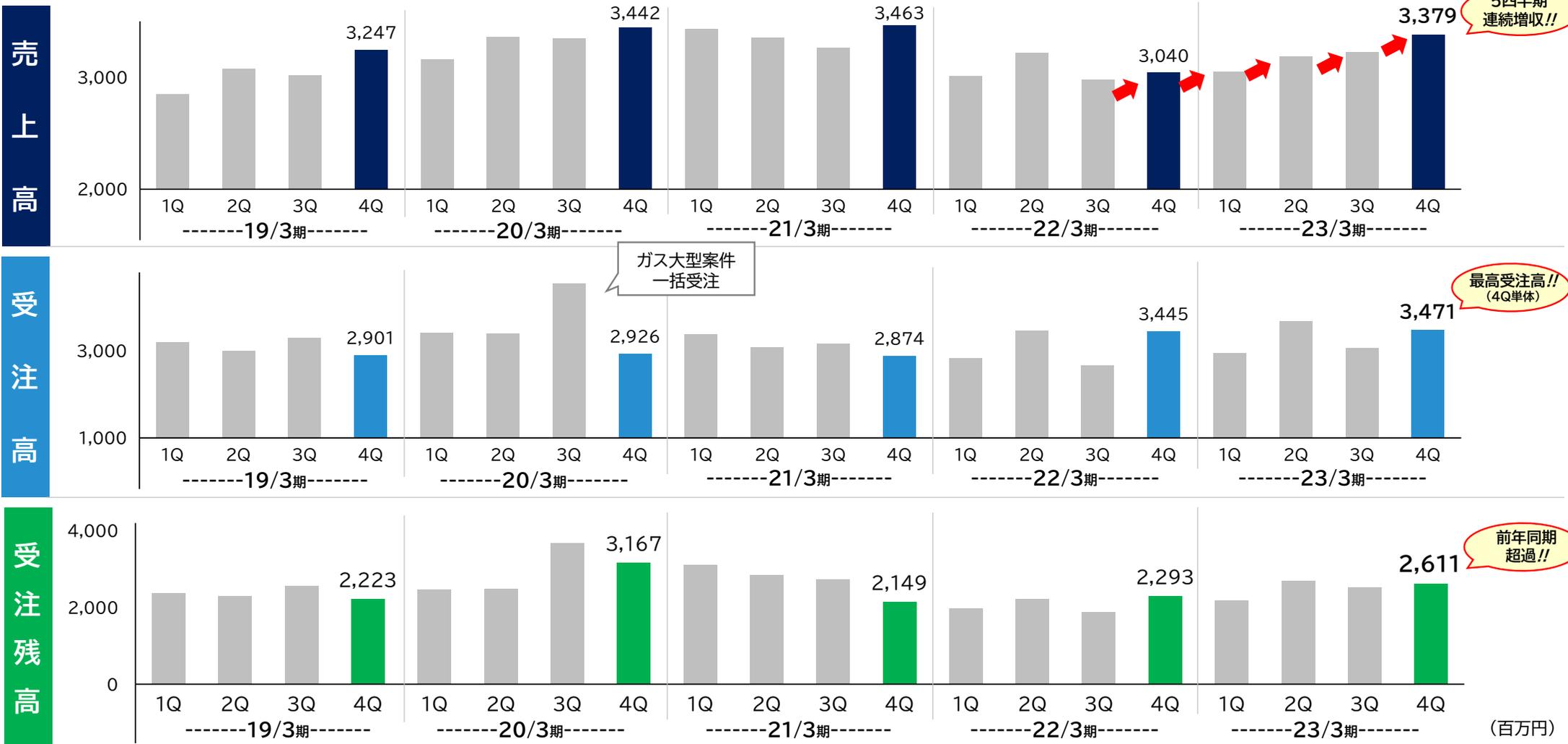
先進インダストリー事業



(単位:百万円)	売上高		受注残高	
	22/3	23/3	22/3	23/3
先進インダストリー事業	4,899	5,638	1,160	1,127
制御システム	1,437	1,471	211	175
基盤システム	2,849	3,527	805	842
ソリューション	612	639	142	108



四半期推移



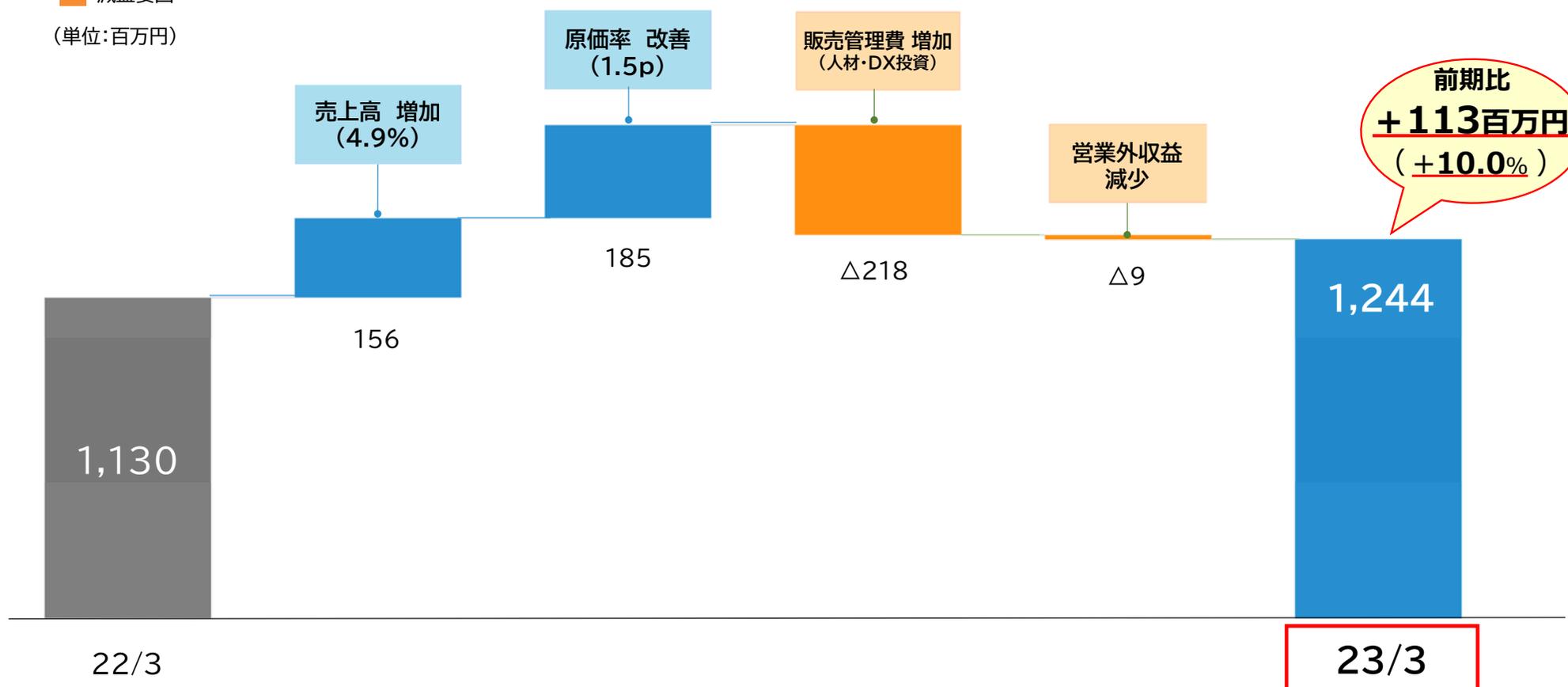
(百万円)

経常利益の分析

主な変動要因

- 増益要因
- 減益要因

(単位:百万円)

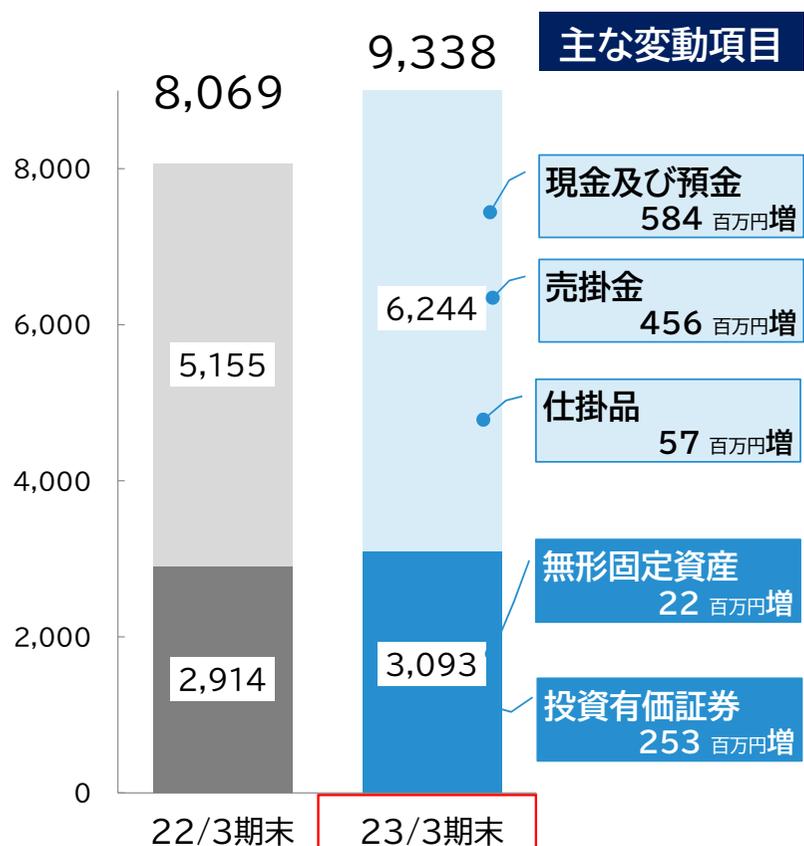


貸借対照表

資産

●総資産: 93億円

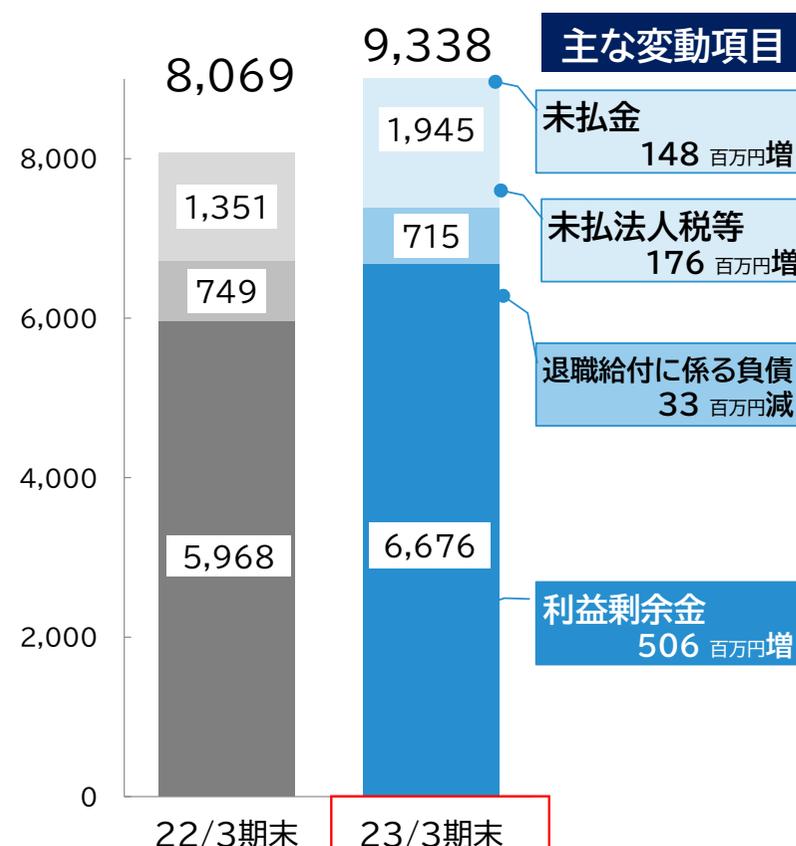
(単位:百万円) 流動資産 固定資産



負債・純資産

●自己資本比率: 70.2%

(単位:百万円) 流動負債 固定負債 純資産



キャッシュ・フロー

	22/3	23/3	変動要因
営業活動	1,781	1,020	税金等調整前当期純利益 1,240
			減価償却費 117
			売上債権の増減額(△は増加) △439
			棚卸資産の増減額(△は増加) △57
			未払金の増減額(△は減少) 148
投資活動	△241	△99	無形固定資産の取得による支出 △126
			敷金及び保証金の回収による収入 52
財務活動	△410	△336	配当金の支払額 △334
現金及び現金同等物の 期末残高	2,806	3,391	

2023年3月期 決算概要

2024年3月期 業績見通し

中期経営計画

2024年3月期に向けたポイント

最高売上・最高利益・最高利益率の更新!!

【ICT動向】 成長・拡大テーマ：DX・デジタル化 / デジタル・データ利活用 / 業務効率化

【顧客動向】 プロジェクトの再開（コロナ禍で中断・延期） / 新たなICT投資（DX・デジタル化）

(単位:百万円)	2023/3期 実績	2024/3期			
		見通し	増減額	増減率(%)	ポイント
売上高	12,842	13,600	757	5.9	【売上高】 ・「 <u>過去最高 売上高</u> 」更新!! （過去最高額：2021/3期 135.1億円） ・けん引：エネルギー（電力）、DX関連等、ソリューション等
社会インフラ事業	7,203	7,800	596	8.3	
先進インダストリー事業	5,638	5,800	161	2.9	
営業利益	1,210	1,300	89	7.4	【利益】 ・「 <u>過去最高 営業利益</u> 」更新!! （過去最高額：2021/3期 12.8億円） ・処遇改定（報酬引き上げ： <u>5%以上</u> ）織り込み済み （原価／販売管理費） ・戦略投資 推進（採用、人材育成、リスクリング等）
営業利益率 (%)	9.4	9.6	-	-	
経常利益	1,244	1,340	95	7.7	
経常利益率 (%)	9.7	9.9	-	-	
当期純利益	841	897	55	6.6	
当期純利益率 (%)	6.6	6.6	-	-	

配当予想

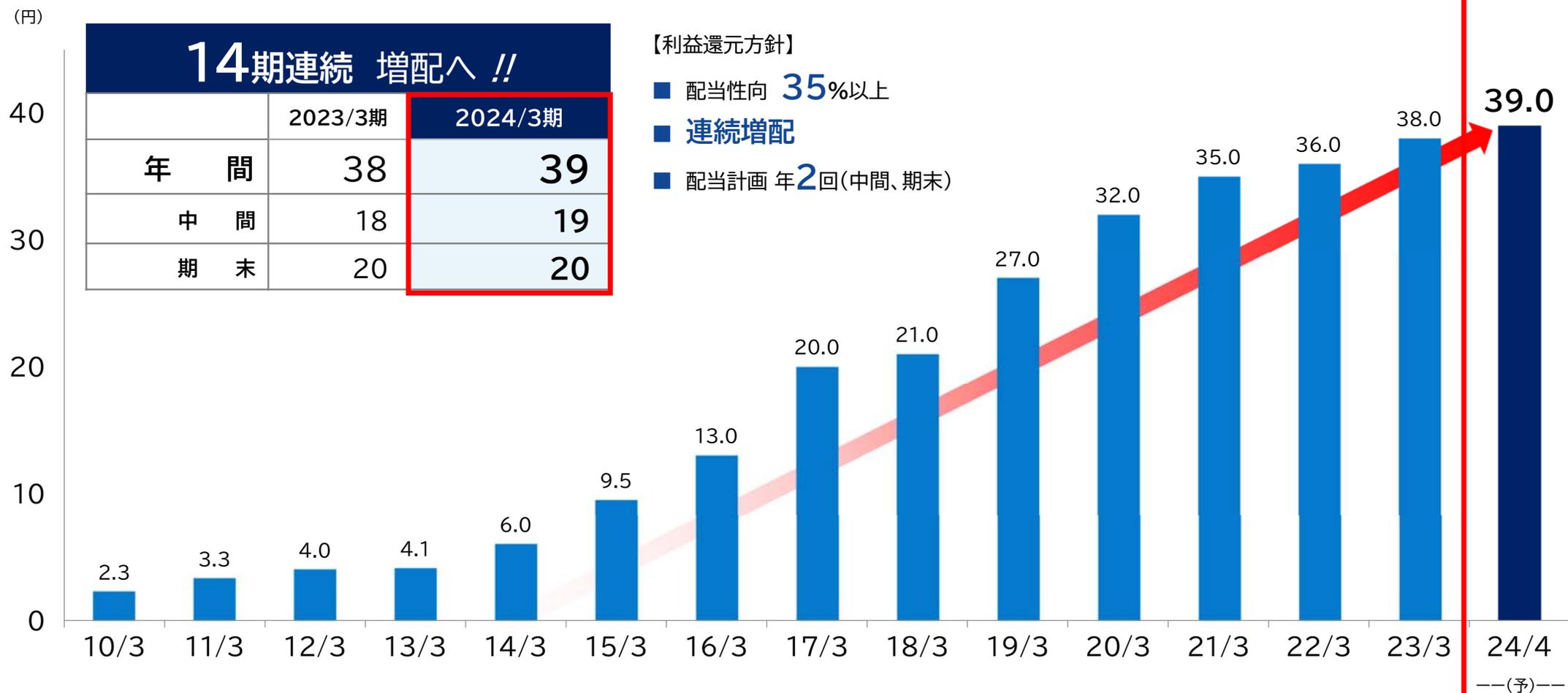


14期連続 増配へ !!

	2023/3期	2024/3期
年間	38	39
中間	18	19
期末	20	20

【利益還元方針】

- 配当性向 **35%**以上
- **連続増配**
- 配当計画 年**2**回(中間、期末)



株主還元 ～株主優待～

対象株主 & 時期

■実施回数：年2回
(9月30日、3月31日の株主様)

■送付時期：

●200株以上4,000株未満
12月、6月に優待品を発送予定

●4,000株以上
11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQUOカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

●保有期間特典

1年以上で QUOカード1枚(500円相当)を
年間 2枚 追加贈呈



■4,000株以上

- 「緑の募金」付きQUOカード(3,000円相当) または
- 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等から選べる株主優待カタログ(3,000円相当の商品から一品)を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

2023年3月期 決算概要

2024年3月期 業績見通し

中期経営計画

2024年3月期に向けたポイント

新・中期経営計画

(2024年3月期～2026年3月期)

2023年5月25日
公表予定

◆ 決算・中期経営計画 説明会（予定 機関投資家・アナリスト向け）

- ・日時 : 2023年5月25日(木) 16:00～17:00
(後日、オンライン配信予定)
- ・開催方法 : Web・オンライン形式



2023年3月期 決算概要

2024年3月期 業績見通し

中期経営計画

2024年3月期に向けたポイント

2024年3月期に向けたポイント

ソリューション展開強化

01 当社ソリューション初
サブスク&SaaS
店舗情報マッピングサービス
「COCOYA」



02 データ利活用①
株式会社ゼンリンとの
アライアンス

地図データ×GIS・エンジニアリングによる
シナジー効果



03 データ利活用②
株式会社データビークル
とのアライアンス

拡張アナリティクス×GISによる
シナジー効果



企業価値向上・持続的成長に向けて

01 仏・シュナイダーエレクトリック社
持続的成長に向けた共創
～「サステナビリティインパクト
アワード」受賞



02 東京大学 大学院工学系研究科
共同研究(宇宙・衛星データ利活用)



03 名古屋オフィス 新規開設
(エネルギー、製造等)



04 人財育成
社員エンゲージメント向上



ソリューション展開強化：【COCOYA】GISオリジナルソリューション

SaaS型 店舗情報マッピングサービス「COCOYA」

- Webサイト上の「店舗一覧」が地図上で簡単に作成できる サブスクリプション・サービス。
- メンテナンス(店舗情報の追加や削除など)は、顧客側で対応可能。



Mapbox
ベース！

- マッピングボックス社とのアライアンスから誕生。同社のテンプレートを活用し、商品化。
- 今後、マッピングボックス社と共同で提案活動を実施。

当社初！
サブスク
サービス

- 当社ソリューション初 サブスクサービス
- 3万円/月～(年契約)



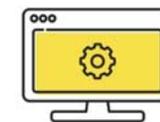
「COCOYA」4つの特徴

01 専門的な
スキル不要



当社の地図専門エンジニアがWeb地図を構築します。

02 いつでも更新・
即時反映



店舗情報に変更があれば、管理者画面から、いつでも簡単にお客様ご自身で情報の更新が可能です。

03ゼンリンの
地図データを採用



MapboxのAPIは、ゼンリンの地図データを採用。日本全国の詳細な地図を活用できます。

04 お手頃価格で
START



年間36万円(月あたり3万円)の利用料※で、お気軽に導入いただけます。

※初期セットアップ作業(¥180,000)が別途発生
※月毎の地図表示回数に応じた使用料が別途発生

【データ利活用①】 アライアンスビジネス強化

ゼンリン 新・パートナーシップ

地図業界
リーディングカンパニー

ZENRIN



GIS:地理情報システム
システムエンジニアリング



アドソル日進

GISソリューションやSIサービスに、ゼンリンの地図を活用

01 最適なデータを提案



02 用途に合わせて加工したデータを提供



03 ソフトウェアとデータの同時購入が可能



- ◆ データ利活用・分析 向上
- ◆ 地図上での視覚的な表現・ビジュアライゼーション
- ◆ 意思決定に貢献（直感的な理解の促進、空間的なデータ分析）

株式会社ゼンリン 会社概要

ZENRIN

- ・会社名:株式会社ゼンリン(東証プライム、福証)
- ・代表者:代表取締役社長 高山 善司
- ・創業:1948年4月
- ・設立:1961年4月
- ・本社: 福岡県北九州市戸畑区中原新町3番1号
- 東京本社: 東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地
ワテラストワー
- ・事業内容:『知・時空間情報』の基盤となる各種情報を収集、管理し、住宅地図帳などの各種地図、地図データベース、コンテンツとして提供。
『知・時空間情報』に付帯、関連するソフトウェアの開発・サービスの提供。
- ・URL:<https://www.zenrin.co.jp/>

【データ利活用②】 アライアンスビジネス強化

データビークル社 ソリューションパートナー契約

実績

【東京都】データ分析ソリューション
(新型コロナウイルス感染症対策)
共同納入



今後の
展望

 DataVehicle



 アドソル日進

BI(Business Intelligence)
データ利活用ビジネスを支援

① データ加工、クレンジング

③ モデル構築、表示

GIS(Geographic Information System)
地図上での直感的な理解を促進

② データ加工(空間情報)
GISによる空間情報の付与
及び、クレンジング

④ ビジュアライゼーション
GISによるUI/UXの提供

顧客の業種・業態の拡大、お客様への提案力の強化

株式会社データビークル 会社概要

 DataVehicle

- ・会社名:株式会社データビークル
- ・代表者:代表取締役CEO 油野 達也
- ・設立:2014年11月
- ・所在地:東京都港区東新橋2-9-1 CIRCLES 汐留8F
- ・事業内容:ビックデータの取得、解析、分析に関する事業 等
- ・URL:<https://www.dtvcl.com/>

【主なプロダクト】

拡張アナリティクスツール

 dataDiver

データプレパレーションツール

 dataFerry

【企業価値向上①】 持続的成長に向けて

仏・シュナイダーエレクトリック社 持続的成長に向けた共創



・エネルギー&オートメーション:グローバルメジャー
・「世界で最も持続可能な企業 第1位」
(2021年 コーポレートナイツ Global 100 Index)

Point

01 共創ビジネスの推進

インダストリーDX

製造業・工場向けDX・IoT



大手メーカー向け
DX・IoTソリューション
共同提案

マイクログリッド、VPP

小規模エネルギーネットワーク



エネルギー企業向け
グローバル事例によるコンサル
ディング

エネルギーマネジメント

ビル、データセンター効率化



ビル・データセンターの
CO2削減・省エネ対応

Point

02 共創活動の推進

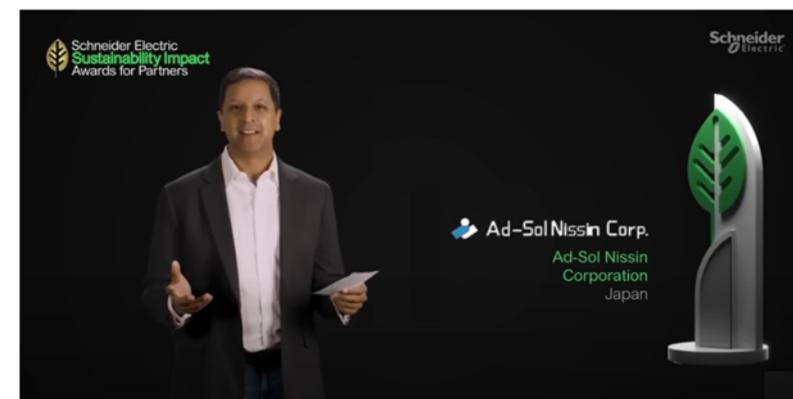


専用PJルーム開設 (東京、大阪)
人材育成の共創推進

シュナイダーエレクトリック社 創設
「サステナビリティインパクトアワード」受賞!
(Sustainability and Efficiency Impact to My Customers)



全世界400社以上のエントリー企業の中から
Global Winner(計6社)の1社に認定



【企業価値向上②】持続的成長に向けて

東京大学 大学院工学系研究科 共同研究(宇宙・衛星データ利活用)

Point
01 **新講座スタート!**
(実践宇宙データ活用)



「宇宙」×「IT」×「問題解決」
価値提供力の育成



- ・「講義」と「ワークショップ」構成
- ・PBLスタイル
(Project Based Learning:課題解決型学習)

Point
02 **特別対談!**
(宇宙IT人材育成)

「宇宙利用大国ニッポン」をめざす上で、宇宙に関わる人材にはどのようなスキルが求められているのか。その背景にはどのような課題があるのかを解き明かす特別対談



アドソル日進
AI研究所部長
浜谷千波

東京大学
大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻
中須賀 真一 教授

Point
03 **成果発表会!**
(宇宙衛星データ×AI)

学生が2チームに分かれ
『衛星データ』『船舶検出AI』を活用した新たなビジネス』
というテーマでプレゼンテーションを実施



プレゼンテーションの様子



宇宙IT人材への期待を語る上田会長

【企業価値向上③】持続的成長に向けて

名古屋オフィス 新規開設

Point 01 国内5拠点 体制

5拠点体制!



Point 02 ビジネスターゲット



「エネルギー:電力・ガス」
(中部地区・エリア戦略推進)



「製造業」
(グローバルカンパニー)

グローバルアライアンスによる新たな価値の共創
(仏・シュナイダーエレクトリック社など)

Point 03 オフィス概要



- ・オフィス名称：アドソル日進株式会社 名古屋オフィス
- ・所在地：名古屋市中区丸の内3-23-20
HF 桜通ビルディング
- ・最寄駅：丸の内駅(地下鉄桜通線・鶴舞線)3分
久屋大通駅(地下鉄桜通線・名城線)5分

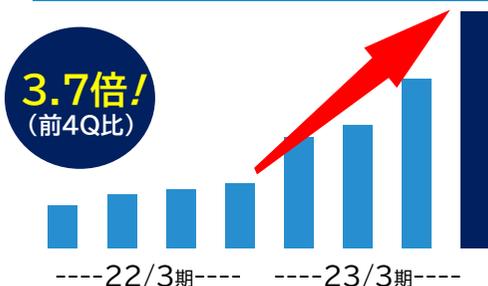
【企業価値向上④】持続的成長に向けて

人材育成・社員エンゲージメント

Point

01 DX人材育成の推進

資格取得者数 推移 (累計)



・テーマ : DX、Azure、AWS、Google、統計など

AIリテラシー社内研修

～DXビジネスに不可欠な「AI」知見の向上～
100人以上のAI人材育成



Point

02 2023年4月 新卒採用



2023/4/3 入社式を開催

入社: **34名**
 ・大学院: 10名
 ・大学 : 24名

- 【国立】 北海道、東北、秋田、福島、茨城、宇都宮、東京、東京工業、一橋、福井、三重、和歌山、広島、徳島、九州工業、九州、鹿児島
- 【公立】 大阪府立、島根県立、北九州市立
- 【私立】 慶應義塾、早稲田、東京理科、法政、明治、同志社

Point

03 制度(ジョブ型)／処遇改定



- (1)新制度のポイント
 - ①「個人の成長」と「職務(ジョブ)」の双方に焦点を当てた「ハイブリッド型」
 - ②複線型キャリアコースの導入
- (2)報酬の引き上げ
 - ①全社員の「処遇改定」
→平均**5.06%**、最大**30%**
 - ②初任給(大卒、大学院卒)
- (3)実施日
2023年4月1日

アドソル日進 会社概要

会社概要



Company Profile-会社概要-

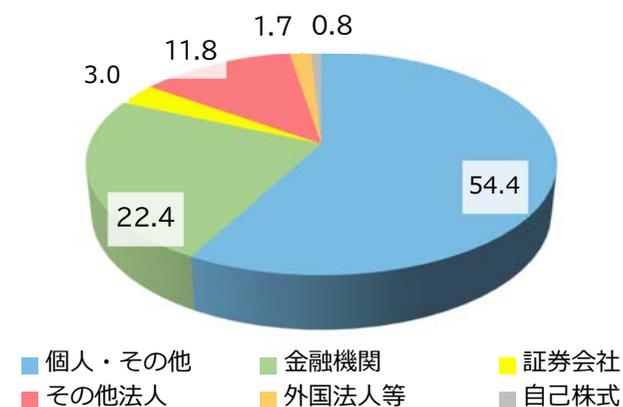
社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川
拠点	大阪、福岡、名古屋、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三 代表取締役社長 兼 COO 篠崎 俊明
従業員数	連結 634名(2023年4月1日現在)
売上高	128.4億円(2023年3月期)
上場市場	東証プライム 3837
発行済株式数	9,390,189株 (2023年3月31日現在)
子会社	<ul style="list-style-type: none"> ・アドソル・アジア(株) (オフショア開発拠点:ベトナム) ・Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)

Our Mission -私たちの使命-

Corporate Philosophy -企業理念-

私たち アドソル日進は
高付加価値サービスの創造・提供を通じて
お客様の満足と豊かな社会の発展に貢献します

株式保有割合 (%)



社会インフラ事業

先進インダストリー事業



グローバル展開



米国～アジア～日本をつなぎ、グローバル・ネットワークで最先端DXソリューションを提供します。



Point
01 サンノゼR&Dセンター



米国・シリコンバレーで最先端R&D
当社社員と米国エンジニアが連携し、最新テクノロジーの調査・研究を推進。

IoTセキュリティのグローバルHQ
米国Lynx社と連携(30年以上)し、最先端IoTセキュリティソリューションの研究開発と、技術力強化に注力。
日本国内のメーカーやインフラ企業への展開を全面的にバックアップ。

Point
02 AI研究所



DXをAI技術から牽引するAI研究所
「先進AIテクノロジーの研究」「AIシステム構築の研究」「AI人材育成」などに注力。

最先端のAI研究活動
国立研究開発法人:産業技術総合研究所のAI品質向上プロジェクト。
東京大学と宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的に「宇宙・衛星データ利活用」関連の共同研究と新講座の両面で、全面的にサポート。

Point
03 産学連携



イノベーションと新テクノロジーの創出
東京大学(宇宙・衛星データ利活用)
早稲田大学(EMS:エネルギー
マネジメントシステム)
慶応義塾大学(GIS:地理情報システム)
立命館大学(IoT、サイバーセキュリティ)
など、産学連携・共同研究や学会活動等を通じて豊かな社会の発展に貢献。

Point
04 特許



独自技術の特許化を推進
「IoT空間情報」「地図情報」「セキュリティ」

競争優位性の強化・拡充に向け、取得した新技術や蓄積したノウハウなど、独自技術の知的財産化を推進。

注意事項

- ・本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ・又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。
- ・尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川

TEL:03-5796-3131(代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp